

# 文教福祉常任委員会記録

令和元年5月9日(木)午後2時22分～午後2時40分(9階908会議室)

## ○出席委員(8名)

委員長	丹治 誠	副委員長	二階堂武文
委員	沢井 和宏	委員	小熊 省三
委員	根本 雅昭	委員	梅津 政則
委員	尾形 武	委員	真田 広志

## ○欠席委員(1名)

委員 高木 克尚

## ○市長等部局出席者(なし)

## ○案 件

所管事務調査 「小学校における ICT を活用した学習活動の充実に関する調査」

- (1) 委員長報告について
- (2) その他

---

午後2時22分 開 議

(丹治 誠委員長) それでは、ただいまから文教福祉常任委員会を開会いたします。

本日、高木委員より欠席の連絡をいただいておりますので、ご報告いたします。

本日の議題は、お手元に配付の次第のとおりです。

初めに、委員長報告についてを議題といたします。

前回の委員会におきまして委員長報告素案をご提示させていただきまして、その素案に対して委員の皆様からご意見を頂戴いたしました。

本日は、委員の皆様からいただいたご意見を反映させた上で、委員長手元におきまして委員長報告最終案を作成いたしました。お手元に配付しておりますので、ごらんをしてください。後ほどご一読いただく時間をとらせていただきますが、委員長報告素案からの修正点について説明をさせていただきます。

初めに、3ページ目の54行目ですが、ここは、そしてと真ん中ら辺からあるのですけれども、そして、当市も加盟を、もともとは予定しているとなっていたのですが、これを検討しているというふう

に変えました。これは、当局のほうから修正依頼があったのですが、このICT教育首長協議会に加盟を予定はまだしていなくて、検討していると、そういうことなので、何かお金がかかるとかという話で、そういうことだそうです。

続いて、9ページの192行目のちょっと後ろのほう、学習の機会というふうにしました。もともと学習が受けられる機会というのを学習の機会というふうに直しました。

続いて、10ページの234行目から237行目についてです。ここは、今までこの委員会の中で統合型校務支援システムというのを推進していくべきだみたいな話になっていたのですが、その統合型校務支援システムというのは国のほうにおいては、私たちが考えている統合型校務支援システムというのは教育の部分と校務とを合わせたものを統合型というふうに思っていたのですが、実は国のほうではそうではなくて、校務だけが統合型と言っているらしいのです。校務の中にも種類があって、教務系、要するに成績の処理とか、出欠管理とか、それからもう一つ、保健系、健康診断とか、保健室に誰が来たかとか、それから学籍系、指導要録とか、こういうふうに分かれるようなのです。それを合わせたものが統合型と国では唱えているという、そういうことで、ちょっとこの表現を変えさせていただきました。ということで、この二重線になっているところ、統合型校務支援システム導入を推進する中で、都道府県単位での共通した校務支援システムの導入の必要性を挙げておりということと、それから、また、学習系システムと校務支援システムを連携させた実証を行うなど、校務における教員の負担軽減も喫緊の課題となっておりますというふうに変えさせていただきました。

それから続いて、11ページの241行目ですが、最後のところ、必要であります。これは、あると思われまますというのを必要であります、強い表現にするべきだということで修正いたしました。

次に、同じく11ページの253行目、ここはもともとICT教育環境が整備されることを祈念いたしましてとなっていたところを、ICT教育が子供たちの豊かな学びにつながることを祈念いたしましてというふうに修正をさせていただきました。

それから、そのほかとして、ご指摘がありました二重括弧というものもご指摘がありましたので、中身を二重括弧に直しております。

それからなお、1ページ目の9行目なのですが、所管事務調査の委員会の開催回数、これ次回の5月23日の委員会開催も含めて、11回というふうに記載をしております。

以上、委員長報告素案からの修正点の説明です。

これから皆さんにちょっとご一読いただいて、ご意見を頂戴したいと思うのですが、きょうのこれをもう最終案に、ご指摘いただいた上でのことになるのですが、最終案にしたいと思っておりますので、修正がある場合はまた大変なことになるので、それなりにお願いしたいと思います。

それでは、10分ぐらいまた、済みません、読む時間をとらせて、あの時計で2時40分まで、お願いします。

**【資料黙読】**

(丹治 誠委員長) それでは、よろしいですか。

では、委員の皆様からご意見を頂戴したいと思います。どうでしょうか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(丹治 誠委員長) それでは、委員長報告最終案につきましてはこの内容でいきたいと思います。

では次に、会派持ち帰り用の委員長報告を配付いたさせます。

【資料配付】

(丹治 誠委員長) それでは、次回の委員会におきまして各会派のご意向を確認させていただきますので、よろしくお願いいたします。

次に、その他、委員の皆様から何かございますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(丹治 誠委員長) それでは、なければ、次回の委員会は5月23日木曜日午前10時からとなりますので、よろしくお願いいたします。

以上で文教福祉常任委員会を終了いたします。お疲れさまでございました。

午後2時40分 散 会

文教福祉常任委員長 丹 治 誠